

## Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、FOMC後の流れを受けてドル売り優勢で始まり、一時3.03台前半までレアル高が進行する局面も見られたが、その後は方向感なく推移し、3.06台前半で取引を終えた。米国で公表された5月消費者物価指数は前月比0.1%上昇を記録(年初来最小の伸び)。食品とエネルギーを除くコア指数も前月比0.1%上昇へ鈍化しており、利上げへ向けた材料としては不十分な内容であったと言える(FRBは、労働市場の継続的な改善とコアインフレ率の低下を利上げの条件として掲げている)。ギリシャ情勢は依然として先の見えない展開が続いている。救済プログラムが終了する30日までにギリシャと債権国はデフォルトとユーロ圏離脱を回避するため合意を形成する必要があるが、昨日開催された協議では折り合いをつけることができなかった。国際通貨基金(IMF)のLagard専務理事は、「ギリシャが15億ユーロ相当のIMFへの支払いを期日である6月30日に行わなければデフォルトとみなされる」と発言。ユーロ圏首脳は22日に緊急会合を開催することを公表したが、ユーロ圏財務相会合(ユーログループ)議長であるDijsselbloemオランダ財務相も、「ギリシャが金融支援を得られることは考えられない状況にある」との見解を示すなど、緊迫した状況が続いている。

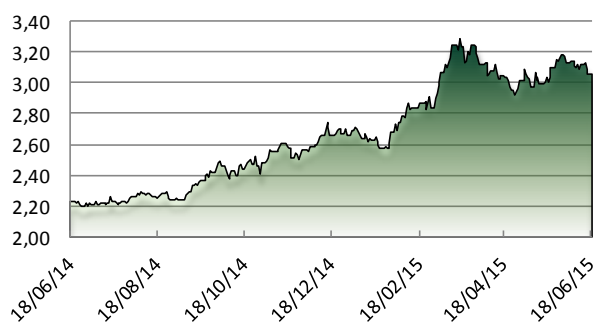
中銀は17日、為替介入手段として使用している通貨スワップの入札規模を一段と縮小することを決定した。ロールオーバー(繰り越し)の縮小は、中銀がレアルへの支援を減らすことを意味しており、FRBが利上げへの準備を進めるマーケット環境下ではネガティブな影響をもたらすと見られる。

## マーケットデータ

Indicator	Unit	6月17日	6月18日	前日比	5月18日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	40,42	40,19	-0,23	39,89	+0,30
USD / BRL Spot	BRL	3,0566	3,0602	+0,0036	3,0056	+0,0546
USD / JPY Spot	JPY	123,43	122,96	-0,47	119,99	+2,97
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.249	54.239	+990	56.204	-1.965
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	241,6	235,6	-6,0	225,3	+10,3
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,65	12,55	-0,10	12,57	-0,02
DI Future Jul16 (金利先物)	%	14,29	14,26	-0,03	13,81	+0,45
3 Months US Dollar Libor	%	0,286	0,286	+0,000	0,276	+0,010
CRB Index (国際商品指数)	Index	223,5	224,1	+0,6	230,7	-6,6

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

